

施主様用

このたびは、東洋エクステリア製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

快適に使用していただくために

取扱説明書 自然浴生活

オーバードア

一直昇電動タイプ

もくじ

1.安全のために必ず守ってください	1
2.各部の名称	6
2-1 AC100V仕様	6
2-2 DC12V/ソーラー仕様	7
3.電動支柱機能の設定方法	8
3-1 コントロールボックスの名称およびはたらき	8
3-2 リモコン送信器を初めて登録するときの方法	10
3-3 リモコン送信器を増やすときの登録方法	11
4.使用方法	12
4-1 リモコン送信器での操作方法	12
4-2 柱 押しボタンスイッチカバーの使用方法	14
4-3 電動支柱 押しボタンスイッチでの操作方法	14
4-4 ロックつまみの使用方法	15
4-5 手動で動かすときの操作方法	16
4-6 電動で動かさないときの操作方法	17
4-7 電動支柱 電源の操作方法	18
4-8 ソーラー電源仕様の場合の使用方法	18
4-9 トランス電源ユニットを使用する場合の使用方法	20
4-10 外部押しボタンスイッチでの操作方法(オプション)	21
5.調整および交換方法	22
5-1 リモコン電池の交換	22
5-2 調整について	23
6.お手入れについて	23
7.修理を依頼する前に	24
8.別売り品	26
9.仕様	26

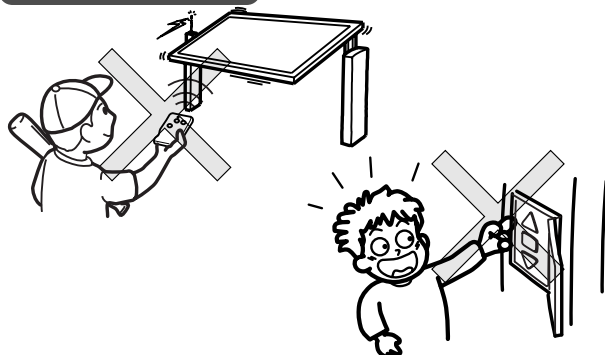
●製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになったあとは、たいせつに保存してください。

この取扱説明書の内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。

安全に関する記号	記号の意味
 警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
 注意	取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
お願い	取扱いを誤った場合に、製品の損傷または故障のおそれがある内容を示しています。
 補足	説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

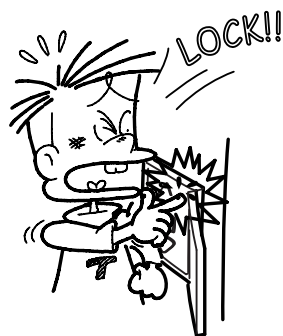
1 安全のために必ず守ってください

警告



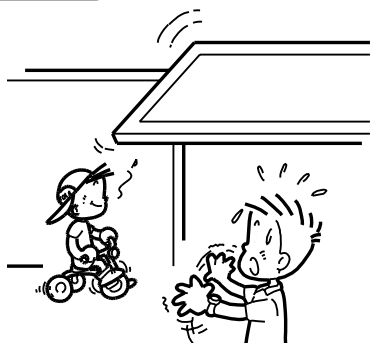
- お子様には操作させないでください。
ケガをしたり、重大な事故につながるおそれがあります。

警告



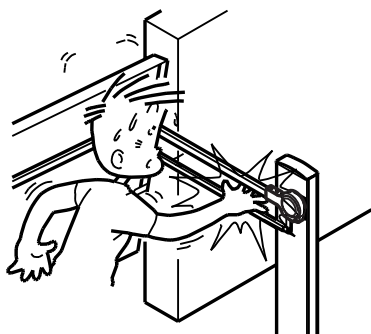
- 押しボタンスイッチカバーは、操作時以外は閉（ロック状態）に必ずしてください。不用意な操作により、ケガをしたり重大な事故につながるおそれがあります。

警告

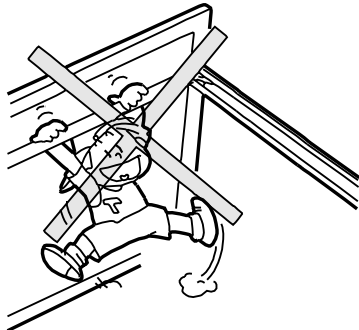


- 扉の開閉時には、障害物がないことをご確認ください。とくに、小さいお子様には充分注意して、お子様がいる場合には操作しないでください。
思わぬケガをしたり、重大な事故につながる可能性があります。また、本体の故障の原因になります。

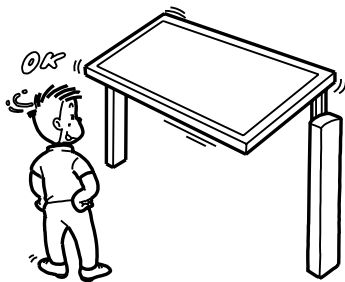
警告



- 扉が開閉しているとき、回転軸や動く部分に手や指などをはさまれないように注意してください。
ケガをしたり、重大な事故につながるおそれがあります。

 警告

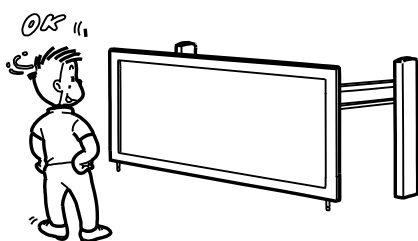
- 扉やアーム、アーム連結棒にぶらさがったり、乗ったりしないでください。特に小さいお子様に充分ご注意ください。思わぬケガをしたり、重大な事故につながる可能性があります。また、部品などの破損や故障の原因になるおそれもあります。

 警告

- 扉の開閉操作が終わるまで、必ず目視確認してください。目をそらすと危険です。扉にはさまれたり、重大な事故につながるおそれがあります。

 警告

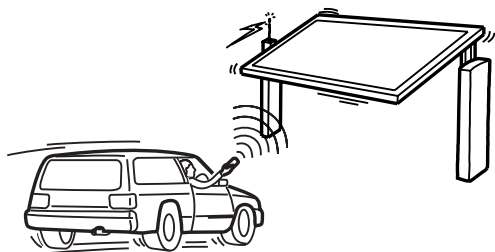
- 扉の動きが止まったことを確認してから、人や車の出入りを行ってください。扉を完全に上げずに入ると扉が戻ったり、落下してケガをしたり、車をキズつけたり、重大な事故につながるおそれがあります。完全に上がっていることを充分にご確認ください。

 警告

- ご使用に際しては、上げたまま放置せず、必ず1回毎に扉を下におろしてください。強風時や降雪時など、破損や故障の原因になるおそれがあります。

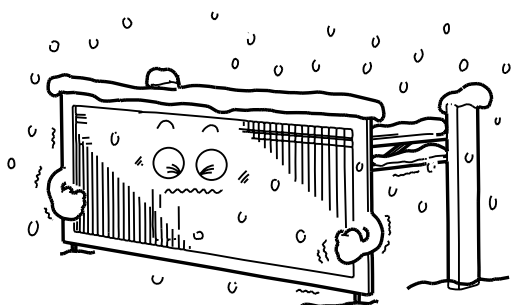
1 つづき

警告



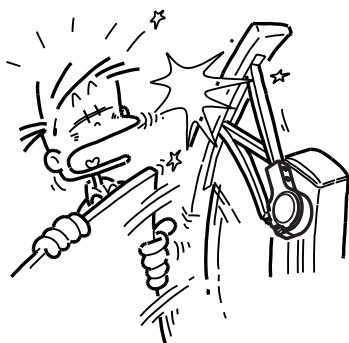
- 車を運転しながら操作しないでください。
重大な事故につながるおそれがあります。

警告



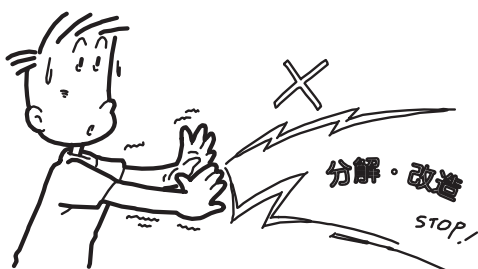
- 降雪時は扉とアームに積もった雪を取り除いてから動かしてください。重みで上がらなかったり、扉が戻ったり、落下してケガをしたり、車をキズつけることがあります。また、破損や故障の原因になります。また、電動開閉中に途中で停止し、人や車の出入りの際、ケガをしたり、車をキズつけることがあります。

警告

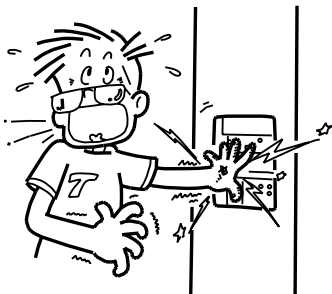


- 扉本体やアームを取り外すなどして、ご自分で修理や改造をしないでください。
重量バランスが崩れた場合はアームなどが急に跳ね上がり、ケガをしたり、重大な事故につながるおそれがあります。

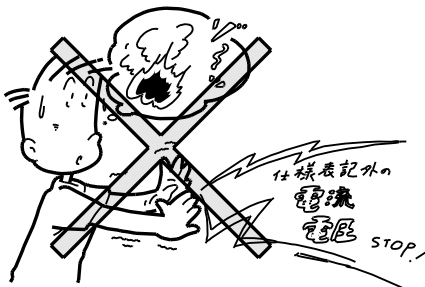
警告



- 送信器を分解したり、改造したりしないでください。
異常な作動をして火災・感電・ケガをすることがあります。

警告

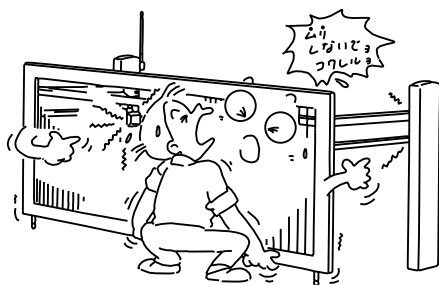
- 電動支柱内の配線にはふれないでください。
感電する危険があります。

警告

- 仕様に表記された電流・電圧以外の電源は使用しないでください。故障や発熱の原因となります。
また、火災等につながるおそれがあります。

注意

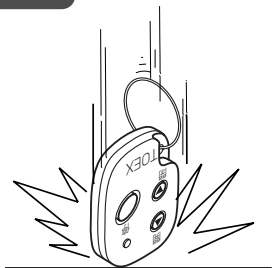
- バッテリー交換時や、リモコン受信器の操作部にふれる場合には、**型材の切断面に注意してください。**
ケガをすることがあります。

注意

- 電動状態（通電状態）のまま、無理に扉を開けないでください。駆動部などを破損するおそれがあります。

1 つづき

⚠ 注意



- リモコン送信器を床に落としたり、衝撃を与えないでください。破損してケガをすることがあります。

⚠ 注意



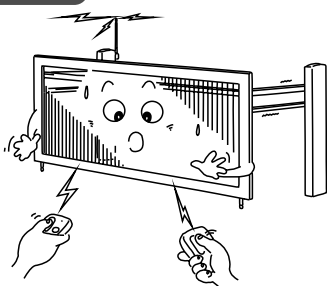
- リモコン送信器は生活防水構造になっていますが、雨でぬれる場所またはぬれた物の上に置かないでください。故障または感電のおそれがあります。

お願い



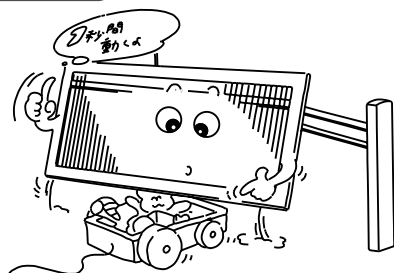
- リモコン送信器を温度が50°以上になるような、夏期炎天下の車内などには放置しないでください。故障の原因になります。

✎ 補足



- 2台以上のリモコン送信器から同時に送信したとき、および各種無線器コードにて電話などの電波を受けたときは作動しないことがあります。

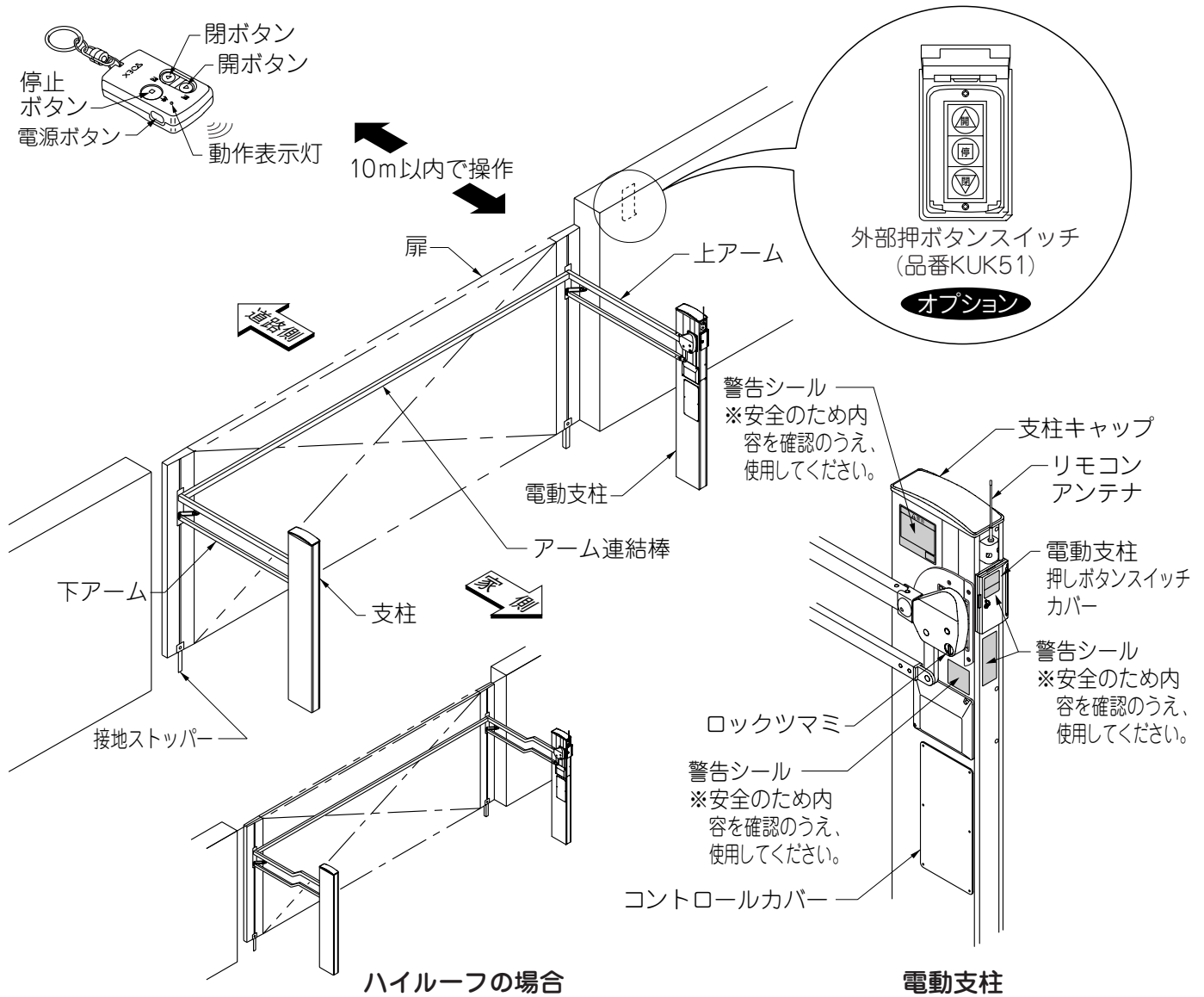
✎ 補足



- 扉が障害物にあたったときには安全装置が働き、閉時は逆方向へ約1秒間動き、停止します。開時はその場で停止します。障害物を取り除き、閉または開ボタンスイッチを押して扉を動かしてください。

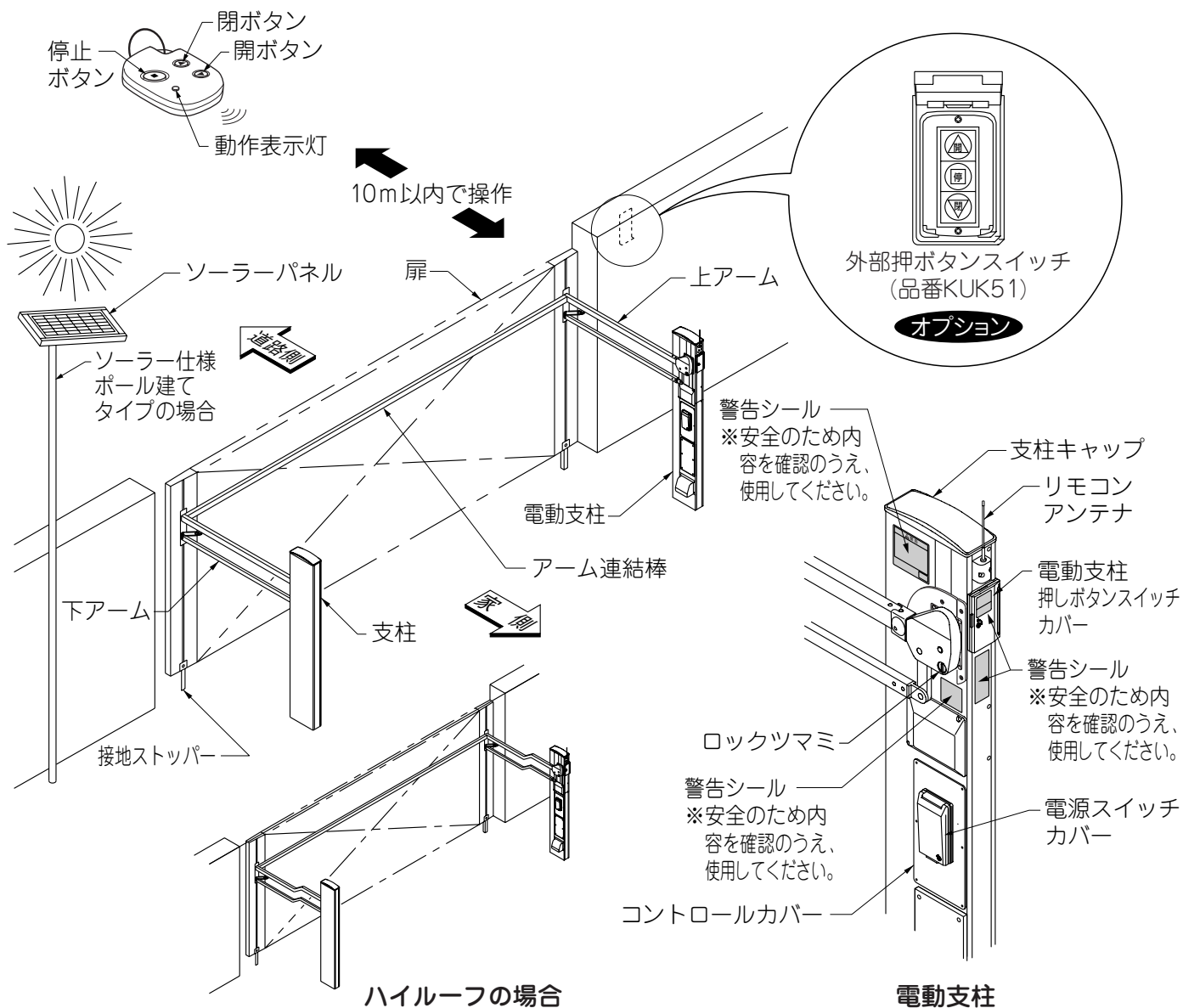
2 各部の名称

2-1 AC100V仕様

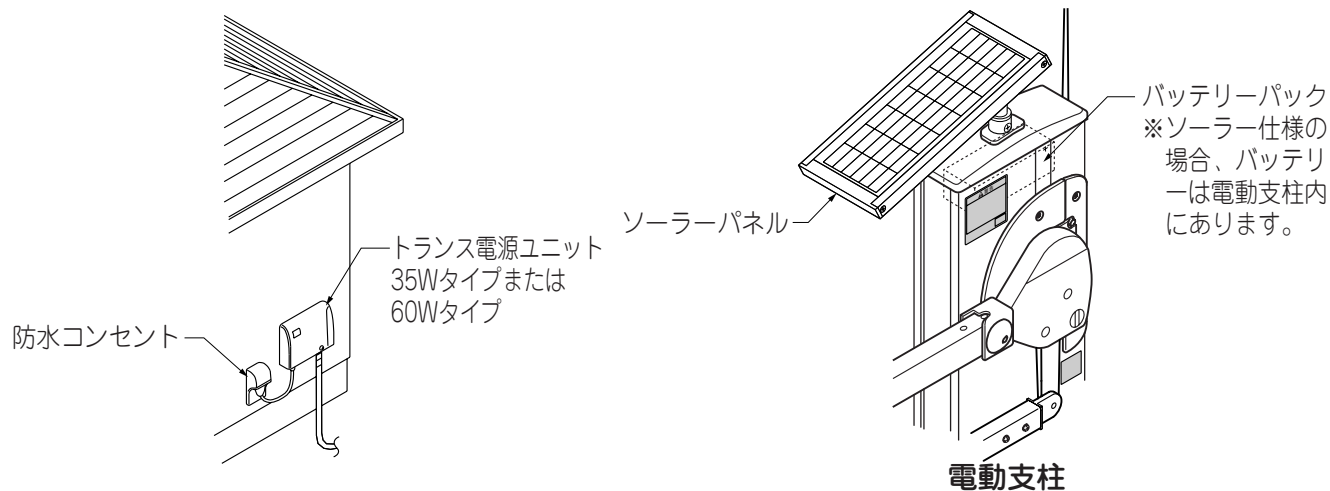


2-2 DC12V/ソーラー仕様

(1) 本体



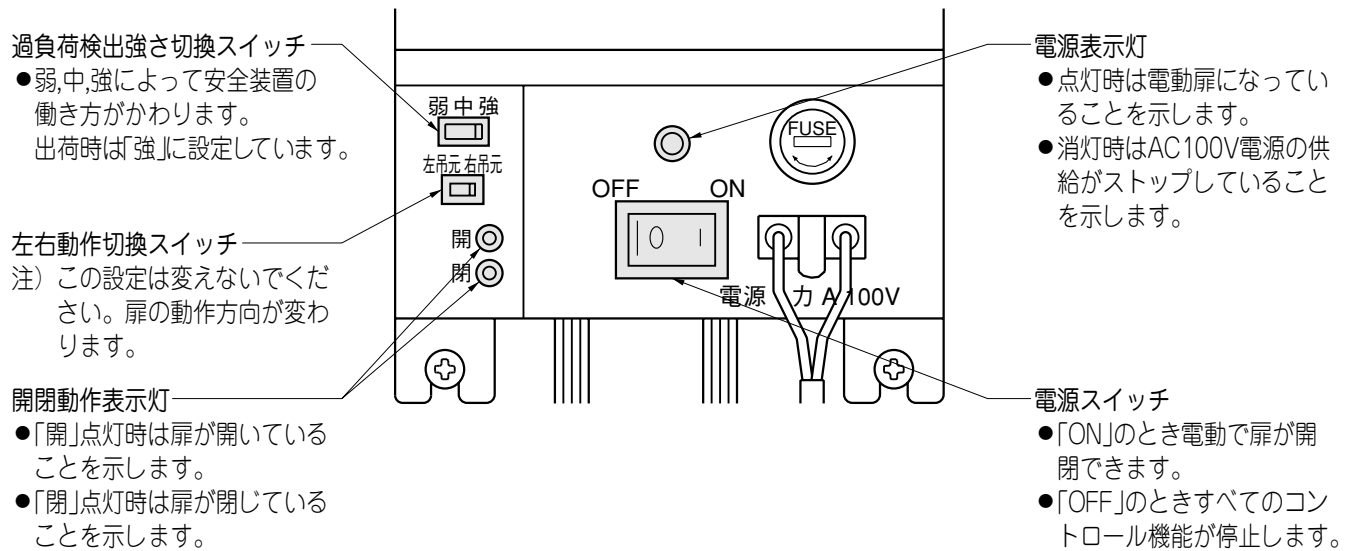
(2) トランス電源ユニットを使用の場合 (3) ソーラー使用柱取付タイプの場合



3 電動支柱機能の設定方法

3-1 コントロールボックスの名称およびはたらき

(1) AC100V仕様の場合



コントロールボックス内スイッチの設定時の表示と動作

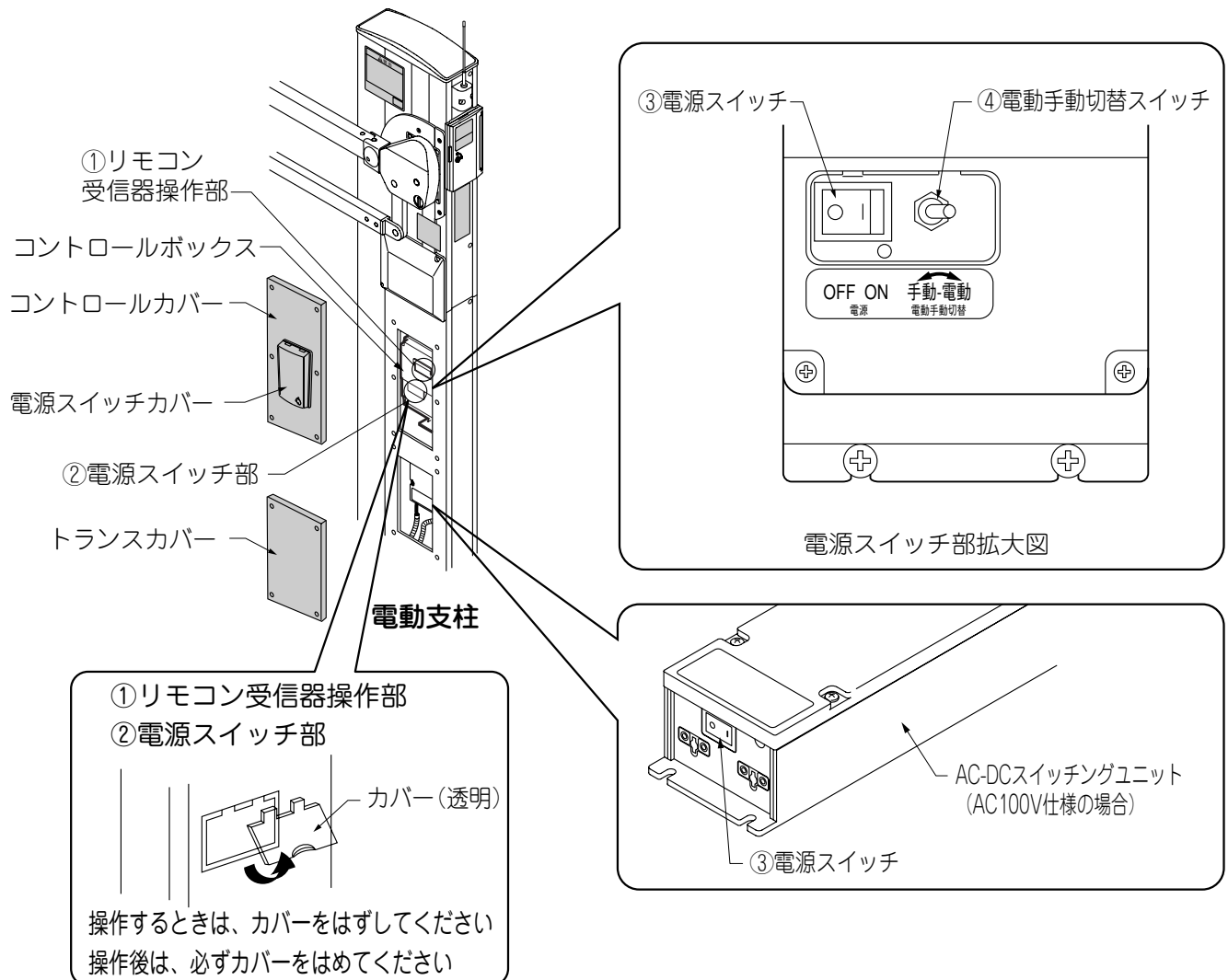
設定機能	設定	表示	動作
電源スイッチ	ON	電源表示灯 点灯	扉が電動で開閉できます。
	OFF	電源表示灯 消灯	扉は電動で動作できません。
過負荷検出強さ 切換スイッチ	弱	—	電動オーバードアでは、このポジションは使用できません。
	中	—	電動オーバードアでは、このポジションは使用できません。
	強	—	扉が開閉動作時に障害物などに衝突したとき、約1秒間後退し、停止します。

⚠ 注意

- コントロールボックス内の配線にふれないでください。感電する危険があります。
- 過負荷検出強さスイッチは「弱」「中」にしないでください。動作ができなくなります。

3-1 つづき

(2) DC12V/ソーラー仕様の場合



	名 称	はたらき
①	リモコン受信器操作部	リモコン送信器を登録・抹消するときに使用します。
②	電源スイッチ	電動支柱の主電源を「ON/OFF」するスイッチです。 「OFF」にするとすべてのコントロール機能が停止します。
③	電動・手動切替スイッチ	手動で扉を動かすときに使用します。 ・手動で扉を動かすときは、スイッチを手動側にします。 ・電動で扉を動かすときは、スイッチを電動側にします。

⚠ 注意

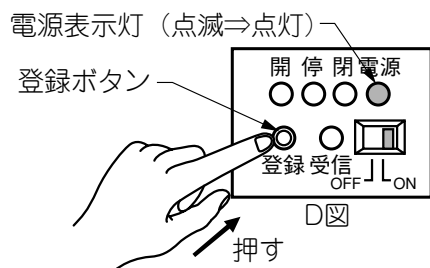
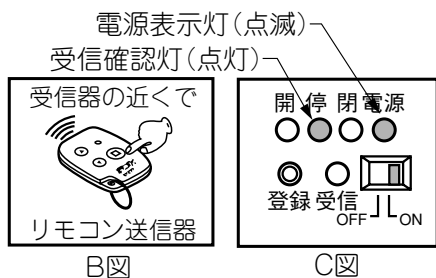
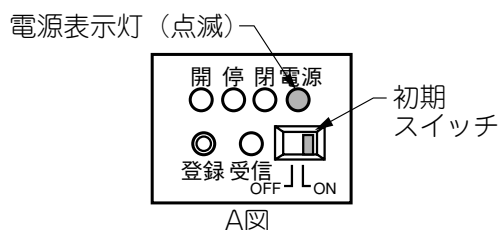
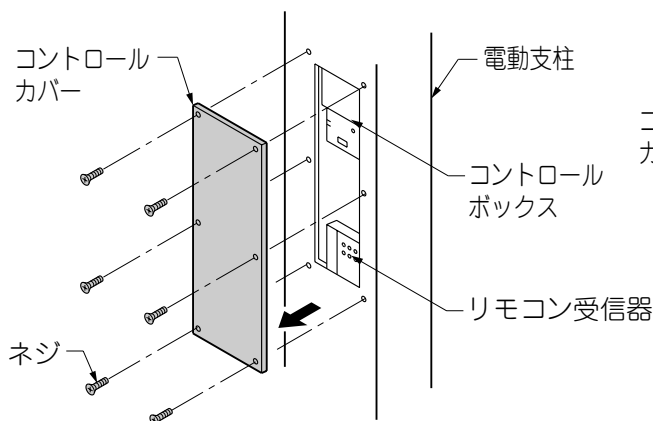
- コントロールボックス内の配線にふれないでください。感電する危険があります。

3-2 リモコン送信器を初めて登録するときの方法

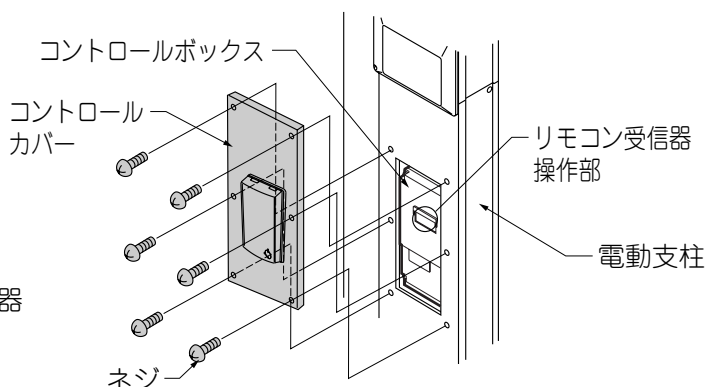
補足

- リモコン送信器で操作する場合は、リモコン受信器に登録します。
- リモコン送信器は、コイン型リチウム電池（CR2032）を1個使用します。出荷時、電池は送信器に内蔵しています。

(1) AC100V仕様の場合



(2) DC12V/ソーラー仕様の場合



- ① 電動支柱のコントロールカバーのネジ6本をはずし、コントロールカバーの下側を手前に引っ張るようにしてはずします。

注意

- 形材の切断面に注意してください。ケガをすることがあります。

- ② リモコン受信器の初期スイッチを「ON」にします。電源表示灯が点滅（緑色）します。（A図参照）点滅しない場合は、初期スイッチを一度「OFF」にし、もう一度「ON」側にします。
- ③ リモコン受信器の近くで、登録するリモコン送信器の「停止」ボタンを押します。（B図参照）リモコン受信器の受信確認灯「停」が点灯（赤色）し送信器登録が完了します。（C図参照）
- ④ リモコン送信器の登録完了後、リモコン受信器の登録ボタンを押して登録または電源表示灯が「点灯」に変わるまで待ちます。（D図参照）電源表示灯が「点灯」になり、受信器登録が完了します。
- ⑤ 電動支柱のコントロールカバーを取付けます。ネジ6本で取付けます、ネジの締め忘れのないように注意してください。

お願い

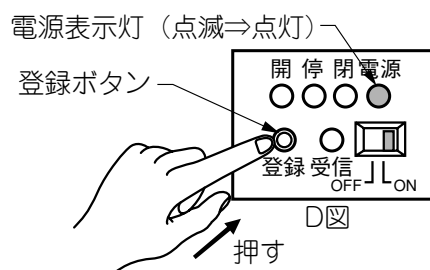
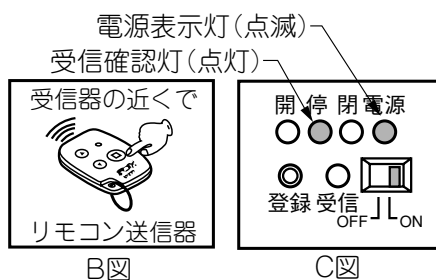
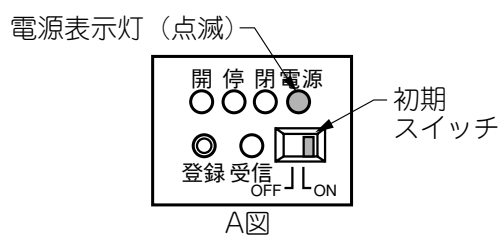
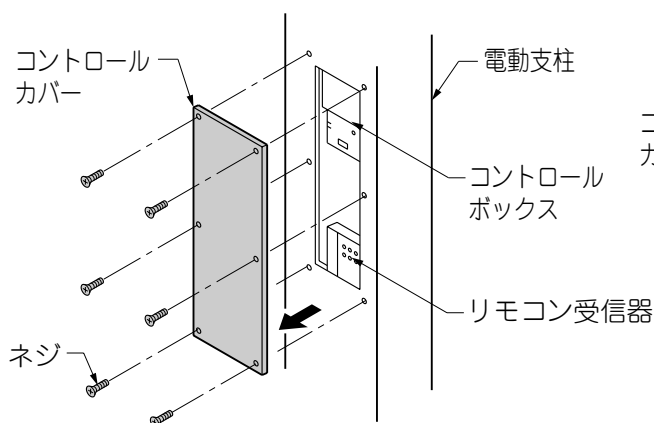
- 受信器への登録は、必ず電源表示灯が「点滅している1分間」に操作してください。
- 初期スイッチを「OFF」にすると、リモコン送信器の登録がすべて抹消します。登録を抹消した場合、リモコン送信器での操作はできなくなります。

3-3 リモコン送信器を増やすときの登録方法

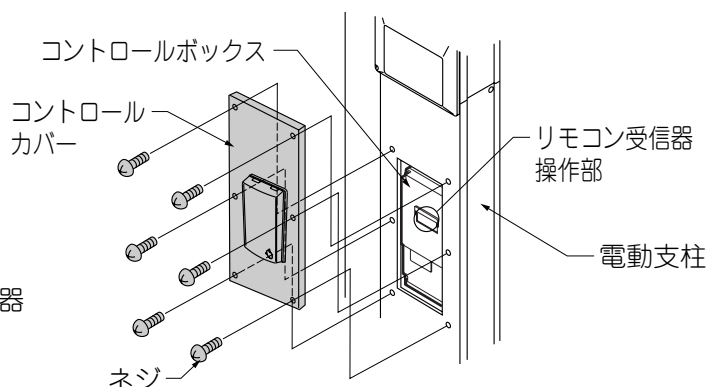
補足

- 別売り品で複数のリモコン送信器をお求め頂いたお客様は追加登録してください。
- リモコン受信器1台につきリモコン送信器16台まで登録可能です。
リモコン送信器を増やす場合、初期スイッチは「ON」の状態に登録してください。

(1) AC100V仕様の場合



(2) DC12V/ソーラー仕様の場合



- ①電動支柱のコントロールカバーのネジ6本をはずし、コントロールカバーの下側を手前に引っ張るようにしてはずします。

注意

- 型材の切断面に注意してください。
ケガをすることがあります。

- ②リモコン受信器の登録ボタンを押します。
電源表示灯が点滅(緑色)します。(A図参照)
リモコン送信器は、最大16個が「登録可能」です。
- ③リモコン受信器の近くで、登録するリモコン送信器の「停止」ボタンを押します。(B図参照)
リモコン受信器の受信確認灯「停」が点灯(赤色)し、送信器登録が完了します。(C図参照)
- ④リモコン送信器の登録完了後、リモコン受信器の登録ボタンを押して登録または電源表示灯が「点灯」に変わるまで待ちます。(D図参照)
電源表示灯が「点灯」になり、受信器登録が完了します。
- ⑤電動支柱のコントロールカバーを取付けます。
ネジ6本で取付けます、ネジの締め忘れのないように注意してください。

お願い

- リモコン送信器を増やす場合、初期スイッチは絶対に動かさないでください(「ON」側のままで固定)。
- 受信器への登録は、必ず電源表示灯が「点滅している1分間」に操作してください。

4 使用方法

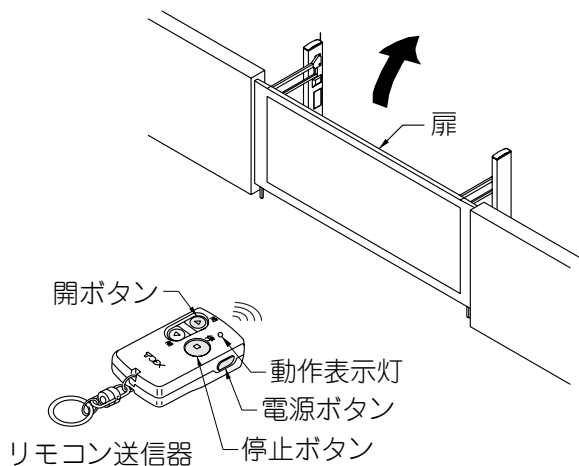
4-1 リモコン送信器での操作方法

(1) AC100V仕様の場合

⚠ 警告

- お子様には操作させないでください。ケガをしたり、重大な事故につながるおそれがあります。

(1-1) 扉を開けるとき



- ① 電源ボタンを押します。

✎ 補足

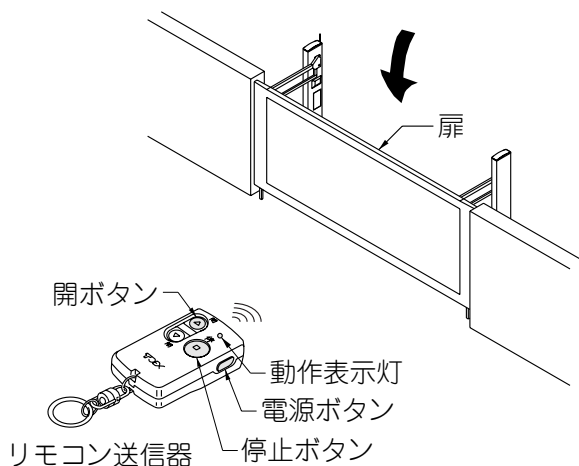
動作表示灯が約15秒間点滅します。「点滅」のときは、「送信」が可能です。

- ② 動作表示灯点滅中に「開」ボタンを押します。
動作表示灯が「点灯」し扉は自動的に開きます。

✎ 補足

- 動作途中で停止するときは「停止」ボタンを押します。

(1-2) 扉を閉めるとき



- ① 電源ボタンを押します。

✎ 補足

動作表示灯が約15秒間点滅します。「点滅」のときは、「送信」が可能です。

- ② 動作表示が点滅中に「閉」ボタンを押します。
動作表示灯が「点灯」し扉は自動的に閉じます。

✎ 補足

- 動作途中で停止するときは「停止」ボタンを押します。

⚠ 注意

- 電源ボタンを押して15秒を経過すると、点滅は自動的に消えて「開・閉」送信ができなくなります。
- リモコン送信器の実用到達距離約10m以内で操作してください。
- 開閉動作中、その逆方向へ操作する場合、必ず「停止」ボタンを押してから、次のボタンを操作してください。
- 停止ボタンは、電源ボタンを押していない場合にも「送信」が可能です。

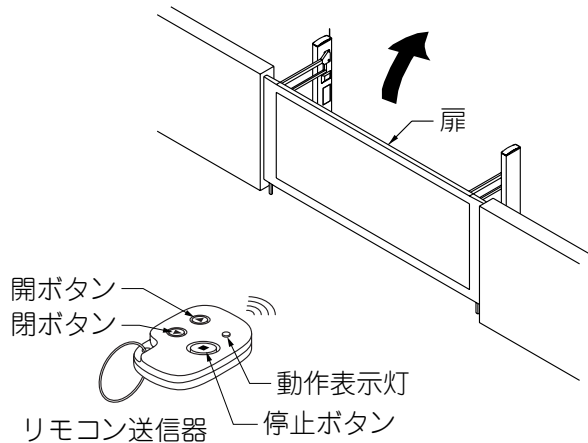
4-1 つづき

(2) DC12V/ソーラ仕様の場合

⚠ 警告

- お子様には操作させないでください。ケガをしたり、重大な事故につながるおそれがあります。

(2-1) 扉を開けるとき

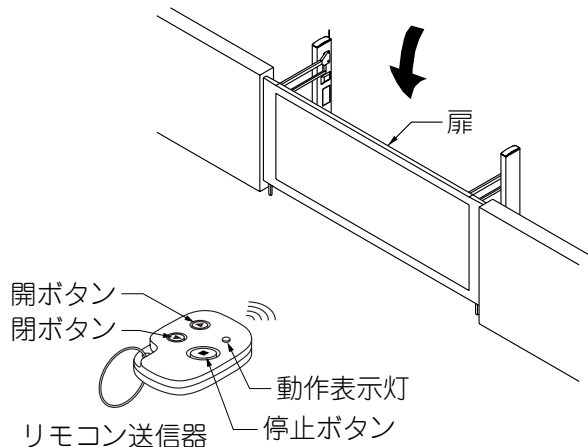


- ①「開」ボタンを1回押して、2秒以内にもう1回押します。
- ②動作表示灯が「点滅」して、送信され、扉は自動的に開きます。

✎ 補足

- 動作途中で停止するときは「停止」ボタンを押します。

(2-2) 扉を閉めるとき



- ①「閉」ボタンを1回押して、2秒以内にもう1回押します。
- ②動作表示灯が「点滅」し送信され、扉は自動的に閉まります。

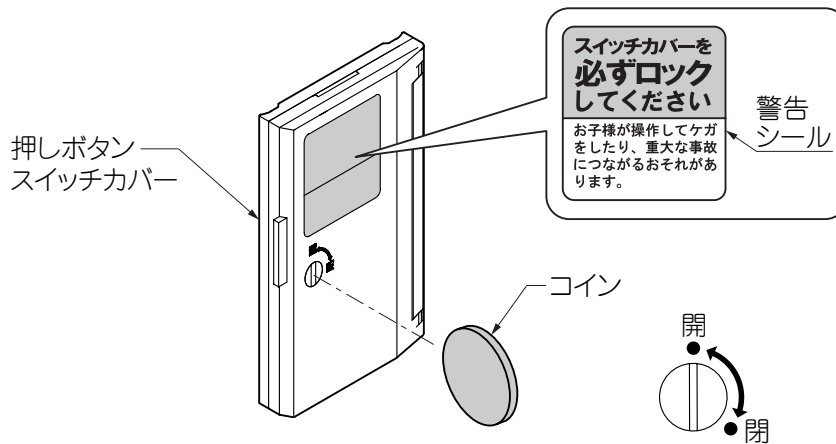
✎ 補足

- 動作途中で停止するときは「停止」ボタンを押します。

お願い

- 「開」または「閉」ボタンを押す間隔が2秒を越えると送信しせんので注意してください。
- リモコン送信器の実用到達距離約10m以内で操作してください。
- 「開」「閉」動作中、その逆方向へ操作する場合、必ず「停止」ボタンを押してから、次のボタンを操作してください。安全上「停止」ボタンに限り1回押すだけで送信するようになっています。

4-2 柱 押しボタンスイッチカバーの使用方法



①コインなどで施開錠します。

警告

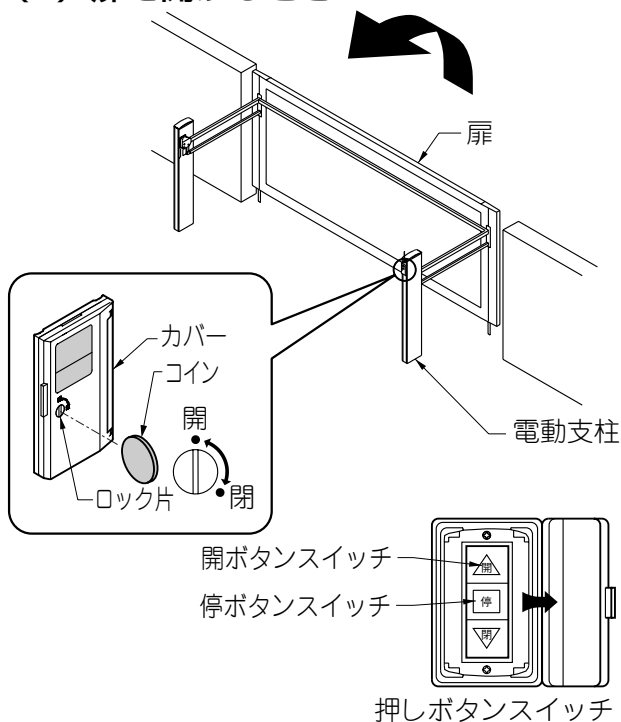
- 不用意な操作による損害を防ぐために、操作時以外は閉またはロックの状態に必ずしてください。

4-3 電動支柱 押しボタンスイッチでの操作方法

警告

- お子様には操作させないでください。ケガをしたり、重大な事故につながるおそれがあります。

(1) 扉を開けるとき



①コインなどをロック片に差し込み、左にまわしてカバーを開けます。

②「開」ボタンスイッチを押すと、扉は自動的に開きます。

補足

- 動作途中で停止するときは「停止」ボタンを押します。

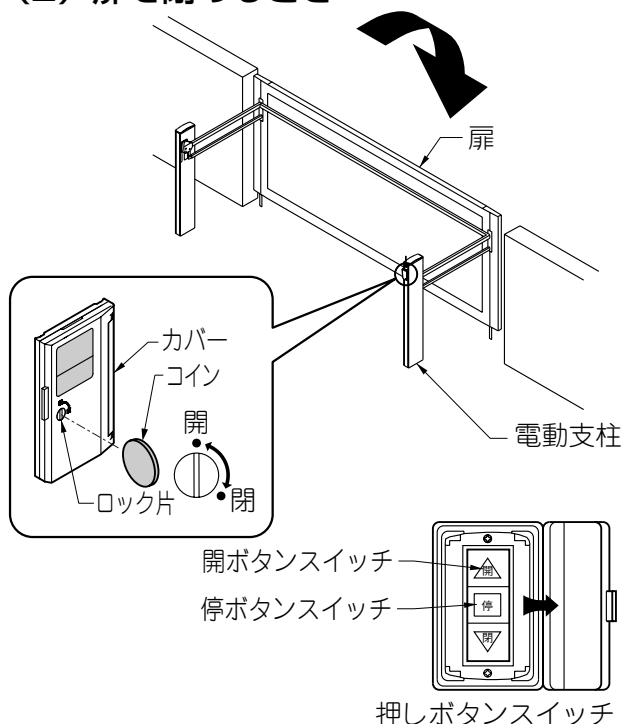
③カバーを閉じ、コインなどをロック片に差し込み、右にまわしてカバーを閉じます。

注意

- 不用意な操作による損害を防ぐために、操作時以外はロック片を「閉」の状態にしてください。

4-3 つづき

(2) 扉を閉めるとき



①コインなどをロック片に差し込み、左にまわしてカバーを開けます。

②「閉」ボタンスイッチを押すと、扉は自動的に閉まります。

補足

●動作途中で停止するときは「停止」ボタンを押します。

③カバーを閉じ、コインなどをロック片に差し込み、右にまわしてカバーを閉じます。

注意

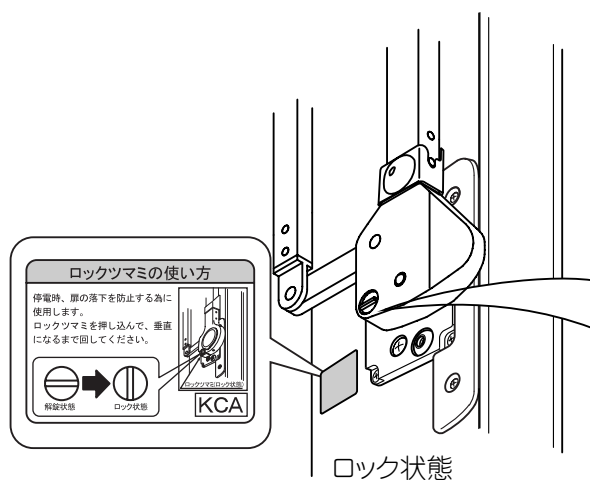
●不用意な操作による損害を防ぐために、操作時以外はロック片を「閉」の状態にしてください。

お願い

●「開」「閉」動作中に、それぞれの逆方向操作する場合、必ず一度「停」ボタンを押してから次のボタン操作をしてください。

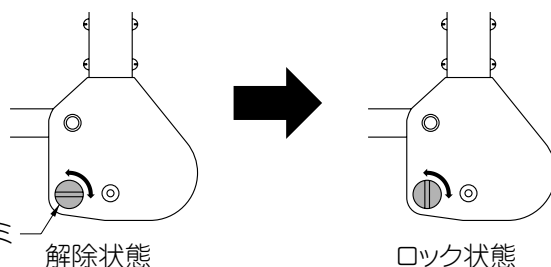
4-4 ロックつまみの使用方法

①停電時に扉を開いた場合(上げた状態)は、ロックつまみをロック状態にします。



<ロックする場合>

ロックつまみを押し込んで、つまみが垂直な状態になるまでまわします。



<解除する場合>

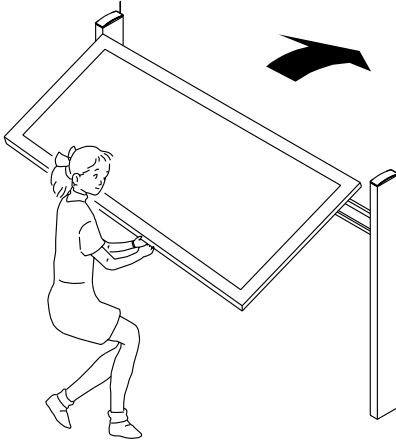
ロックつまみを押し込んで、つまみが水平の状態になるまでまわします。

注意

●ロックしないと扉が落下するおそれがあります。
●扉を閉るときは必ずロックつまみを解除の状態にしてください。ロック状態のまま閉ると、駆動部が破損するおそれがあります。

4-5 手動で動かすときの操作方法

(1) AC100V仕様の場合



①扉の中心部を手で持ち開閉します。

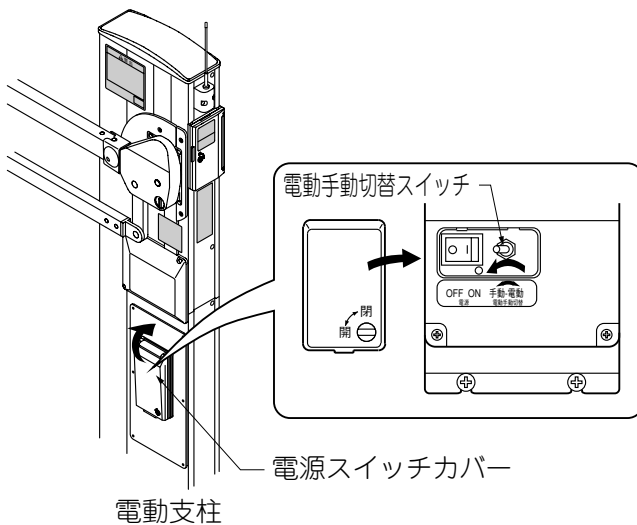
補足

- 扉の開閉時に約15～20kgの力が必要となります。

注意

- 手動での開閉は非常時に限り行ってください。通常は電動操作でご使用ください。
- 扉を閉る場合、必ずロック解除してください。ロック状態のまま扉を閉ると、駆動部が破損するおそれがあります。

(2) DC12V/ソーラ仕様の場合



①電動支柱の電源スイッチカバーを開け電動手動切替スイッチを手動側にします。

補足

- 手動開閉が可能になります。
- 開閉には約7kgの力が必要となります。

②扉の中心部を手で持ち開閉します。

注意

- 手動での開閉は非常時に限り行ってください。通常は電動操作でご使用ください。
- 扉を閉る場合、必ずロックツマミを解除の状態にしてください。ロック状態のまま閉ると駆動部が破損するおそれがあります。
- 手動切替後、非常時が回復（電動で使用できる状態）したときは、コントロールボックスの電動手動切替スイッチを電動側にすることを忘れないでください。

お願い

- 電源のON、OFFに関係無く、電動手動切替スイッチが電動側の時は、モーターによる25～30kgのロックがかかっています。手動で開閉する場合、必ず電動手動切替スイッチを手動側にして使用してください。

4 - 6 電動で動かせないときの操作方法

(1) AC100V仕様の場合

補 足

- 非常時（停電・故障）など電動で動かせないときは、手動で動かすことができます。

① **4-5** 手動で動かすときの操作方法を参照してください。

(2) DC12V/ソーラ仕様の場合

補 足

- 非常時（停電・故障）など電動で動かせないときは、手動で動かすことができます。

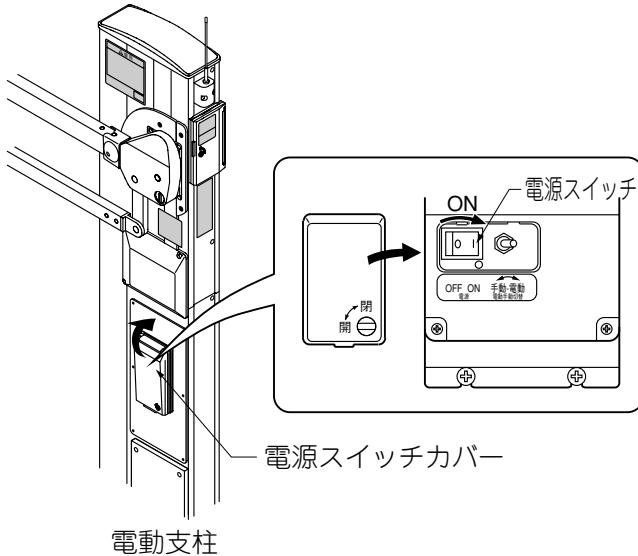
① **4-5** 手動で動かすときの操作方法を参照してください。

注 意

- 扉が動作中に人や車、障害物に衝突した時に、大事故を防ぐために安全装置設定しています。
- 開閉操作中に安全装置が作動した場合、閉側は、約1秒後退し停止します。開側は、その場で停止します。
- オーバードア 1モータの場合、安全装置が働く力は7～8kgです。

4-7 電動支柱 電源の操作方法

(1) DC12V/ソーラ仕様の場合



①電源支柱の電源スイッチカバーを開け電源をONにします。

補足

- 電源スイッチカバーには簡易錠が付いています。コイン等で開位置（溝が平行）まで回しカバーをあけます。

4-8 ソーラー電源仕様の場合の使用方法

(1) ソーラ仕様の場合

※詳細は、ソーラー電源セットの取付・取扱説明書を参照してください。

お願い

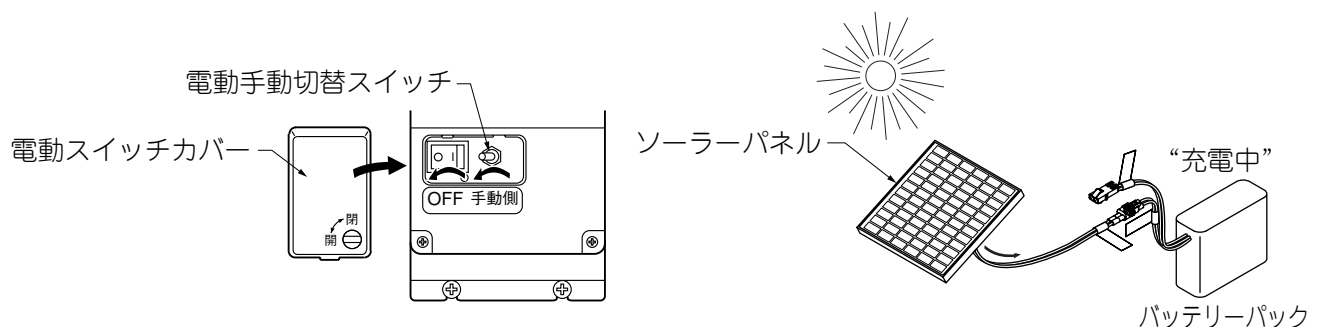
- ソーラー電源を使用する場合、電動で動作させる前にバッテリーの充電が必要になります。
- バッテリーは工場出荷段階では、充電が不十分です。必ず充電した後、使用してください。

(1-1) バッテリーの充電方法

電源支柱の電源スイッチカバーをあけ、電源をOFFにし、晴天下で1～2日間放置します。

お願い

- 充電中は、電動手動切替スイッチを手動側にして使用してください。

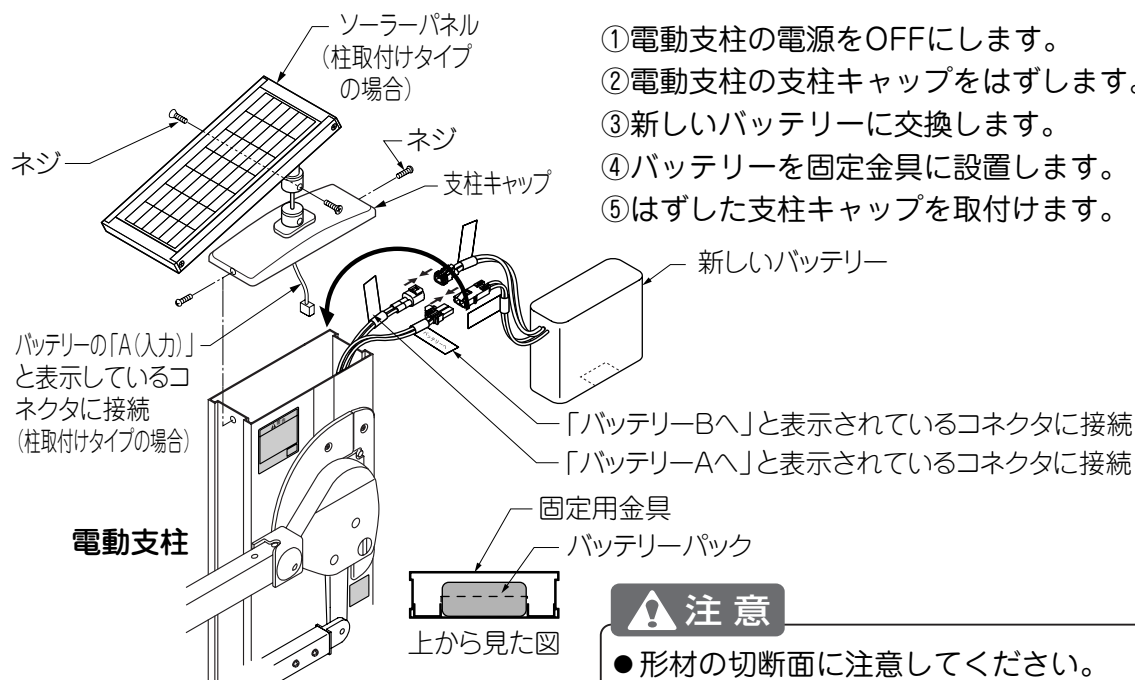


4-8 つづき

(1-2) バッテリーの交換について

お願い

- バッテリーには、寿命があります。交換時期の目安は、4～5年です。
バッテリーを充電した後にすぐに扉本体が電動で途中で止まるなど症状が現れた場合、すみやかにバッテリーを交換してください。



注意

- 型材の切断面に注意してください。
ケガをすることがあります。

補足

- バッテリーは使用環境により著しく寿命が短くなることがあります。
- 交換したバッテリー(ニカド電池)はリサイクル可能な貴重な資源です。使用済のバッテリーは、リサイクルボックスを設置している最寄りの電気店、小売店などへお持ちいただきリサイクルに協力してください。

(1-3) 動作回数について

補足

- ソーラーシステムはソーラーパネル(太陽電池)が発電する電気をバッテリーに充電し、その蓄えた電気でオーバードアを動作させています。動作はすべてのバッテリー容量の影響を受けますので、目安となる動作回数を設けています。動作回数は1日10往復以下または1週間で70往復以内(動作時の昼夜・天候は問いません)が目安です。

お願い

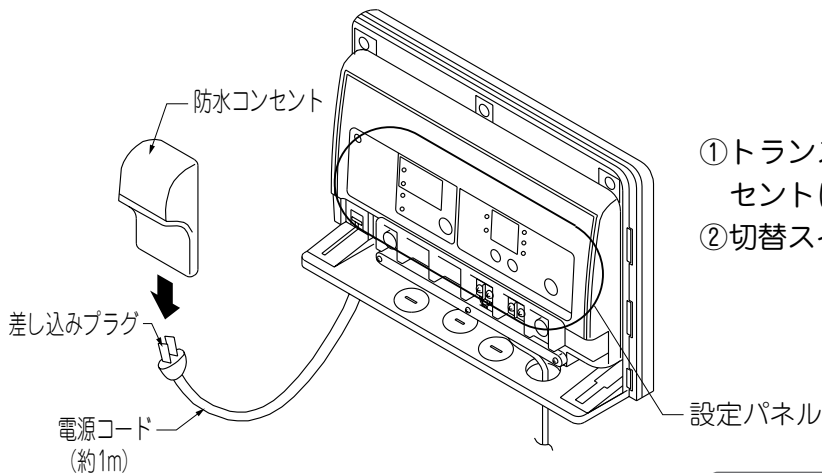
- 周囲の環境等で動作回数が少なくなることがあります。
- 動作回数の制限を超えても使用は可能ですが、1年を通して安定した動作を得るために制限回数以内で使用してください。

4-9 トランス電源ユニットを使用する場合の使用方法

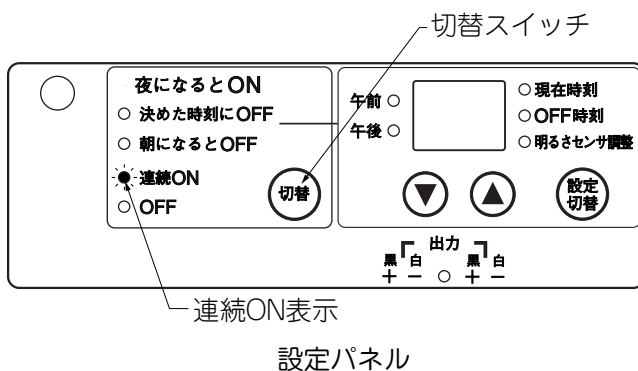
(1) DC12V仕様の場合

※詳細は、トランス電源ユニットの取扱説明書を参照してください

(1-1) 35Wタイプの出力の設定方法



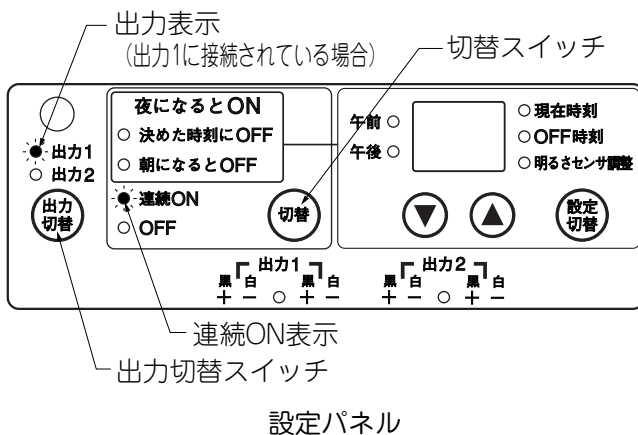
- ①トランス電源ユニットの差し込みプラグを防水コンセントに差し込みます。
- ②切替スイッチを押し連続ONを点灯させます。



補足

- 通常、出荷段階では、連続ONになっていますので切替は必要ありません。
- 電動商品を使用する場合、連続ON以外では、使用できませんので注意してください。他の設定は、照明器具に使用する設定です。

(1-2) 60Wタイプの出力の設定方法



- ①トランス電源ユニットの差し込みプラグを防水コンセントに差し込みます。
- ②出力切替スイッチを押し電動商品を接続している出力に切替えます。
- ③切替スイッチを押し連続ONを点灯させます。

補足

- 通常、出荷段階では、連続ONになっていますので切替は必要ありません。
- 電動商品を使用する場合、連続ON以外では、使用できませんので注意してください。他の設定は、照明器具に使用する設定です。
- 照明器具を使用する場合の出力設定は、トランス電源ユニットの取扱説明書を参照してください。

4 - 10 外部押ボタンスイッチでの操作方法（オプション）

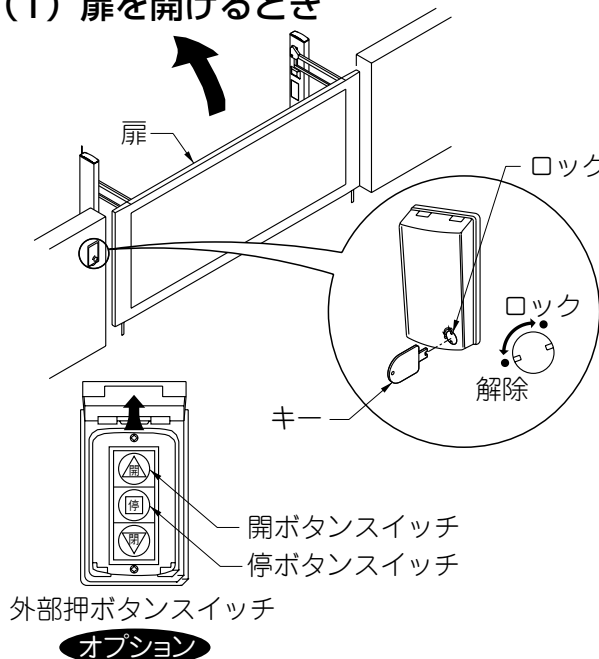
⚠ 警告

- お子様には操作させないでください。ケガをしたり、重大な事故につながるおそれがあります。

✎ 補足

- 別売り品の「外部押ボタンスイッチ」は、リモコン送信器とは別に、外部から扉を操作できます。

(1) 扉を開けるとき



- ① 付属のキーをロック片に差し込み、左にまわしてカバーを開けます。
- ② 「開」ボタンスイッチを押すと、扉は自動的に開きます。

✎ 補足

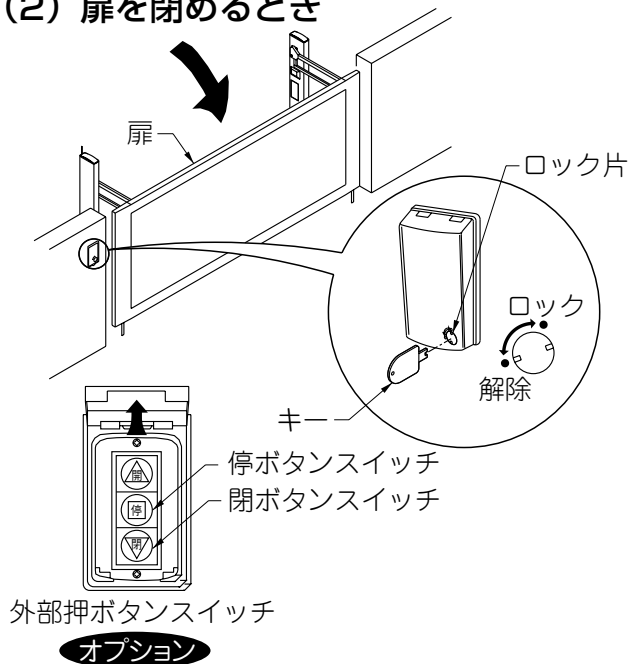
- 動作途中で停止するときは「停止」ボタンを押します。

- ③ カバーを閉じ、付属のキーをロック片に差し込み、右にまわしてカバーをロックします。

⚠ 注意

- 不用意な操作による損害を防ぐために、操作時以外はカバーをロックしてください。

(2) 扉を閉めるとき



- ① 付属のキーをロック片に差し込み、左にまわしてカバーを開けます。
- ② 「閉」ボタンスイッチを押すと、扉は自動的に閉まります。

✎ 補足

- 動作途中で停止するときは「停止」ボタンを押します。

- ③ カバーを閉じ、付属のキーをロック片に差し込み、右にまわしてカバーをロックします。

⚠ 注意

- 不用意な操作による損害を防ぐために、操作時以外はカバーをロックしてください。

お願い

- 「開」「閉」動作中に、それぞれの逆方向操作する場合、必ず一度「停」ボタンを押してから次のボタン操作をしてください。

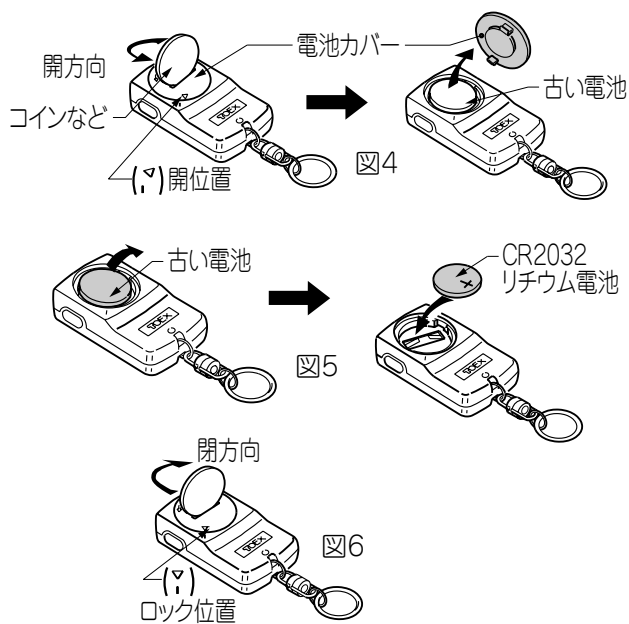
5 調整および交換方法

5-1 リモコン電池の交換

補足

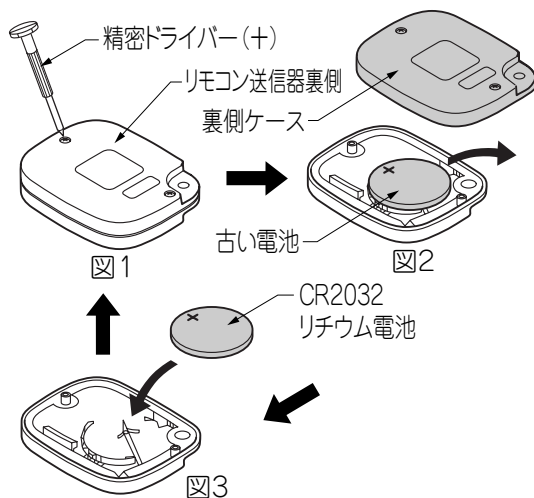
- リモコンの到達距離が短くなったり、動作表示灯が点灯しなくなった場合は、速やかに新しい「リチウム電池CR2032」に交換してください。

(1) AC100V仕様の場合



- ①送信器裏側、カバーの溝にコイン等を差し込み、矢印開方向(反時計方向)に回して、電池カバーをはずします。(図4参照)
 - ②古い電池を取り出します。(図5参照)
 - ③新しい電池は「+マーク」が見える向き(上側)にはめ込みます。(図5参照)
 - ④電池カバーを外した位置で差し込み、コイン等で矢印閉方向(時計方向)に回し閉めます。(図6参照)
- 「+マーク」を合わせます。「締め忘れ」に注意してください。(図5「位置マーク」参照)

(2) DC12V仕様の場合



- ①リモコン受信器の裏側のネジ(2ヶ所)を精密ドライバー等ではずします。(図1参照)
- ②リモコン送信器の裏側のケースをはずし、古い電池を取り出します。(図2参照)
- ③新しい電池は「+マーク」が見える向き(上側)にはめ込みます。(図3参照)
- ④はずしたケースを取付けます。(図1参照)

注意

- 電池の極性「+」、「-」を確認の上、セットしてください。
- 電池交換の際は、水分やほこり等が入らないように注意してください。故障の原因になります。
- 回路部に触れぬように注意してください。故障の原因になります。

5-2 調整について

⚠ 注意

- 各部に異常や不具合が生じた場合には、むやみな分解や調整をせずに、お買い上げの販売店（工事店）にご相談ください。異常動作など、故障の原因になります。

6 お手入れについて

(1) 汚れの取り方

- ①年に2～3回水洗いをして拭きとってください。
 - a.汚れが軽い場合は水で濡らした布で拭き、乾拭きしてください。
 - b.汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液でよごれを落としたあとで、洗剤が残らないようによく水洗いをして拭きとってください。

お願い

- ブラシは使用しないでください。キズがつくおそれがあります。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。材料が変形、変色することがあります。

✎ 補足

- お手入れは、できるだけ根気よく行ってください。汚れを放置すると表面の状態に悪い影響を与えることがあります。

(2) キズの補修

- ①アルミ部にあやまってキズをつけた場合、弊社純正補修塗料で補修してください。放置すると腐食の原因になります。

7 修理を依頼する前に

補 足

- 故障かなと思われたとき、修理を依頼する前にお調べください。直らなかったときには、修理を依頼ください。

(1) AC100V仕様の場合

このようなとき	点 検	処 置
電動で作動しない	家側のブレーカーがOFFになっていませんか。	ブレーカーをONにする
	電動支柱の電源スイッチがOFFになっていませんか。	電源スイッチをONにする (8ページ参照)
	扉軌跡上に障害物などありませんか。	障害物を取り除く
	ロックツマミがロック状態になっていませんか。	ロックツマミを解除する。 (15ページ参照)
扉が開閉時、途中で停止し後退する	扉軌跡上および接地ストッパーのまわりに障害物などありませんか。	障害物を取り除く
	コントロールボックス内過負荷検出強さ切換えスイッチが「弱」「中」になっていませんか。	過負荷検出強さ切換えスイッチを「強」にする (8ページ参照)
リモコン送信器の開閉押ボタンスイッチを押しても動かない	リモコン送信器の操作方法がまちがっていませんか。	電源ボタンを押してから15秒以内に開閉ボタンを押す。(12ページ参照)
	リモコン送信器の電池が消耗していませんか。(送信表示灯が点灯していますか。)	新しい電池に交換 (22ページ参照)
	リモコン送信器の押ボタンスイッチを0.3秒以上押していますか。	必ず0.3秒以上押す
	2台以上のリモコン送信器から同時に発信していませんか。	同時に発信しない
	各種無線器、コードレス電話などを同時使用していませんか。	同時使用は避ける
	操作位置がアンテナから遠すぎませんか。	10m以内で操作
	リモコン送信器が受信器に登録されていますか。	リモコン送信器を登録 (10～11ページ参照)

7 つづき

補 足

- 故障かなと思われたとき、修理を依頼する前にお調べください。直らなかったときには、修理を依頼ください。

(2) DC12V/ソーラ仕様の場合

このようなとき	点 検	処 置
電動で作動しない、途中で停止する	電動支柱の電源スイッチが「OFF」になっていませんか。	電源スイッチをONにしてください。 (17ページ参照)
	電動支柱の電動手動切替スイッチが手動側になっていませんか。	電動手動切替スイッチを電動側にしてください。(16ページ参照)
	バッテリーの充電は十分ですか。 (ソーラー仕様の場合)	バッテリーを充電してください。 (18ページ参照)
	ソーラーパネルが樹木や建物の陰になっていませんか。 (ソーラー仕様の場合)	バッテリーの充電が不十分になりやすいので、ソーラーパネルの移設をおすすめします。
	バッテリーの寿命の時期がきていませんか。 4～5年が目安です。(ソーラー仕様の場合)	バッテリーを交換してください。 (19ページ参照)
	トランス電源ユニットの電源が入っていますか。	トランス電源ユニットの差し込みプラグを防水コンセントに差し込んでください。 (20ページ参照)
	トランス電源ユニットの出力が「連続ON」になっていますか。	トランス電源ユニットの出力を「連続ON」にしてください。(20ページ参照)
	扉軌道跡上および接地ストッパーのまわりに障害物などありませんか。	障害物を取り除いてください。
	ロックツマミがロック状態になっていませんか。	ロックツマミを解除してください。
動作が遅い	全閉状態で、電源を一度「OFF」にしていますか。	扉を全閉状態にしてください。
リモコン送信器の開閉ボタンスイッチを押しても動かない	リモコン送信器の操作方法がまちがっていませんか。	「開」または「閉」ボタンを1回押し、2秒以内にもう1回(ダブルクリック)押してください。(13ページ参照)
	リモコン送信器の電池が消耗していませんか。(送信表示灯が点灯していますか。)	新しい電池に交換してください。 (22ページ参照)
	リモコン送信器の押ボタンスイッチを0.3秒以上押していますか。	必ず0.3秒以上押してください。
	2台以上のリモコン送信器から同時に発信していませんか。	同時に発信しないでください。
	各種無線器、コードレス電話などを同時使用していませんか。	同時使用は避けてください。
	操作位置がアンテナから遠すぎませんか。	10m以内で操作してください。
	リモコン送信器が受信器に登録されていますか。	リモコン送信器に登録してください。 (10～11ページ参照)
	リモコン送信器の初期スイッチをOFFにしていますか。	初期スイッチを「OFF」にするとリモコン送信器の登録がすべて抹消され、リモコン送信器での操作ができなくなります。リモコン送信器を再登録してください。 (10ページ参照)

補 足

- 本製品は、インバータモータにより通常はスロースタート・スローストップします。ただし扉が全閉以外の場所で電源をOFFにし、その後電源をONにすると扉の動作は、スロー動作のままになります。スロー動作になった場合、必ず一度全閉状態にしてください。一度全閉状態にすると通常の動作にもどります。

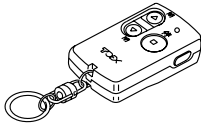
8 別売り品

下記のような別売品がありますので、目的に合わせてご利用ください。

- ロング接地ストッパー：扉下端と地面の間隔が広いときにご利用ください。
- 補修塗料：あやまってキズをつけたときの補修にご利用ください。
- 外部押ボタンスイッチセット(KUK51)：扉を道路側または見通せる離れた場所から操作したいときにご利用ください。
- アンテナ延長ケーブルセット(KYZ81)：アンテナを見通しの良い場所に別設するときにご利用ください。

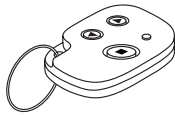
(1) AC100V仕様の場合

- リモコン送信器(KYZ73)：送信器を増やしたいとき、あやまって破損・損失したときにお申し込みください。



(2) DC12V/ソーラ仕様の場合

- リモコン送信器(KYZ77)：送信器を増やしたいとき、あやまって破損・損失したときにお申し込みください。



- 交換用バッテリーパック(KAR21)：バッテリー交換時期がきたらお求めください。

9 仕様

(1) AC100V仕様の場合

電 源	AC100V 50/60Hz
消費電力(動作時)	オーバードア(W27・30型)約60W ワイドオーバードア約80W
モーター定格出力	オーバードア(W27・30型)15W(1モーター) ワイド10W(2モーター)
周囲温度	－10℃～50℃
開 閉 時 間	11.5秒(50Hz) 10秒(60Hz)
リモコン到達距離	見通し距離 約10m(使用環境で短くなる場合があります。)
操 作 方 法	電動柱押ボタンスイッチ、リモコン送信器
電池寿命	1日10回(開・閉・停いづれか1操作/回)の使用で約1年です。

(2) DC12V/ソーラ仕様の場合

電 源	DC12V
消費電力(動作時)	8.4VA(動作時平均)
モーター定格出力	10W
周囲温度	－10℃～50℃
開 閉 時 間	約20秒
リモコン到達距離	見通し距離 約10m(使用環境で短くなる場合があります。)
操 作 方 法	電動柱押ボタンスイッチ、リモコン送信器
電池寿命	1日10回(開・閉・停いづれか1操作/回)の使用で約5年です。

—お客様相談室—
☎0120-601-852

東洋エクステリア株式会社



取説コード
UD089

JZZ615117B
200706A_1001
200801C_1001